朝鮮学校調査報告書の概要

調査の概要

1 調査の目的

朝鮮学校への運営費補助金※交付の当否を判断するに当たり、朝鮮学校の実態を確認するため、学校運営全般について調査を実施 ※私立外国人学校教育運営費補助

2 調査の実施状況

H21 朝鮮学校への補助額 10 校に対し計2,357 万円

(1)調査期間

平成23年12月~平成25年10月

- (2) 調査対象 都内朝鮮学校及び学校を設置・運営する学校法人東京朝鮮学園
- (3)調査方法
 - ・教科書(全122冊)、財務関係書類等の書面調査
 - ・現地調査全11校(幼・初・中・高級部がある学校で、休校中1校を含む)
 - ・朝鮮総連の機関紙等からの情報収集に基づくヒアリング

調査結果

1 教育内容及び学校運営

朝鮮学校は朝鮮総連と密接な関係にあり、教育内容や学校運営について、 強い影響を受ける状況にある

- 社会の教科書に、朝鮮総連が朝鮮学校を設置・運営している旨の記述
- 教科書の奥付に、編纂者が「総連中央常任委員会教科書編纂委員会」であることが明記
- 歴史・音楽の教科書は、北朝鮮の指導者を礼賛するなど特有の内容
 - ◆ 「現代朝鮮歴史」(高級部)の教科書には、「敬愛する金日成主席様」、「敬愛する金正日将軍様」等の 記述が409頁中353回
 - ◆ 「音楽」の教科書には、金日成・金正日を礼賛する歌曲
- 朝鮮学校の職員室及び高級部の教室には金日成・金正日の肖像画が、初級部・中級部の教室には金日成・金正日を描写した絵画が掲示
- 高級部の生徒は「在日本朝鮮青年同盟(朝青)」に加盟。朝青は、朝鮮総連の傘下団体であり、その組織規約には、「朝青は、自己の全ての事業を総連の指導の下に進める」などと規定
- 各朝鮮学校内には朝鮮総連の傘下団体である「教育会」や「在日本朝鮮人教職員同盟 (教職同)」が存在

2 施設財産

学校敷地内に教育目的以外に継続的に使用される施設がある、朝鮮 総連及びその関係団体等に経済的便宜を図るなど、朝鮮学園は準学 校法人として不適正な財産の管理・運用を行っている

- 第6幼初級学校(大田区千鳥)及び西第2幼初級学校(町田市金森東)の敷地内に、朝鮮総連支部等の事務所が存在。朝鮮学園は、学校施設の一部を朝鮮総連支部等に無償で長期間貸与
- 朝鮮学園は、在日朝鮮人団体のために土地(世田谷区経堂)を購入し、固 定資産税程度の極めて低廉な賃料で貸与
- 朝鮮大学校(小平市小川町)のグラウンドを朝鮮総連関係企業の負債のために担保提供

施設財産にかかる改善指導

1 都による改善指導

本調査で判明した不適正な財産の管理・運用について、文書による改善指 導を実施

2 朝鮮学園の回答

- 客観的・歴史的経緯を勘案した場合、学校施設の一部に対する利用を単 に画一的に財産管理・運用面だけで捉えることは必ずしも妥当ではない。
- 法令を遵守し、より適正な学校運営を図るため、当学園の財産管理・運用につき、年度内に改善措置を講じる考えである。

朝鮮学園の主張

- 朝鮮学校が苦難の歴史を経ながら今なお存続し、半世紀以上にわたり民族教育の場を守ってこられたのは、祖国と広範な在日同胞の支援があったからにほかならない。
- 朝鮮総連は朝鮮学校に様々な支援をしてくれているが、朝鮮総連の指導の下に 学校運営が行われている事実はない。